

テクバン株式会社

好きなときに好きな場所で学べる

Oracle Cloud ラーニング・サブスクリプションを活用し
Oracle Cloud 認定資格を取得

TECHVAN

独立系 Sler として、業務アプリケーションの開発から IT インフラ・ネットワークの構築まで幅広い技術サービスを提供しているテクバン株式会社(以下、テクバン)。クラウドサービスを利用したシステム構築やオンプレ環境からクラウドへの移行サービスなど手がける同社は、2017 年から Oracle Cloud Infrastructure (OCI) の導入支援サービスを開始した。サービス開始に合わせ同社では、Oracle Cloud ラーニング・サブスクリプションを導入。これを活用することで、社全体の技術力をアップさせ、サービス品質の向上を図っている。

社全体の技術力アップを目指し

Oracle Cloud ラーニング・サブスクリプションを導入

1996 年の設立以来、先端の情報技術を用いたサービスの提供により、23 期連続で黒字経営を続けるテクバン。金融系のアプリケーション開発を得意としており、メガバンクをはじめ、証券会社、クレジット会社などの業務システム開発を多数手がけてきた。近年は IT インフラのサービスにも注力しており、特にクラウドサービスやマネージドサービスに重点を置いてビジネスを強化している。



事業統括本部
インフラソリューション事業部
インフラソリューション部
インフラソリューション4課長
今柳田 洋士 氏

Oracle とは、設立当初から Oracle Database や Oracle Solaris などで協業。クラウドサービスにおいても、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) がリリースされた 2017 年から導入支援サービスを手がけている。さらには、OCI を利用した自社ソリューションとして、ファイルサーバーのバックアップサービスや、OCI と顧客環境をセキュアに接続するインターネット VPN 接続サービスなどを提供中だ。

これらのサービスを担っているのが、同社のインフラソリューション部インフラソリューション 4 課である。同課 課長の今柳田洋士氏は「当社は複数社のクラウドサービスを扱って

いますが、中でも OCI は今後のビジネスの中核に育てていきたいと考えています」と語る。

OCI のサービスを本格的に推進するにあたり、必要となるのが社全体の技術力アップだ。そこで同社はエキスパートエンジニアの育成を決断。手始めにインフラソリューション 4 課のエンジニアの中からリーダークラスのメンバー 1 名を選び、「Oracle Cloud ラーニング・サブスクリプション(以下、CLS)」を受講させることにした。

「OCI の知識を体系的に習得していくためには、オンライン形式で学び方に融通の利く CLS が最適だと考えました。また、実際に手を動かして学ぶことができるハンズオン環境が提供される点も評価しました」(今柳田氏)

オンライン形式で時間と場所を選ばず学べる

CLS は 1 年間のサブスクリプション形式で提供され、OCI のプラットフォームの利用方法、開発や運用のために必要となる知識などを、トレーニングビデオ、デモ、実機演習を通じて包括的に学ぶことができる。トレーニングビデオは製品のアップデートに応じて常に最新の状態で提供される。

実際に受講したインフラソリューション 4 課 課長代理の森中雅夫氏は「2018 年 5 月から 2019 年 4 月まで、IaaS と PaaS のコースを受講しました。各コンテンツは 1 本あたり 5 分から 30 分程度ですので、好きな時間に好きな場所で気軽に学ぶことができます。ハンズオン環境も用意されているので、学習後すぐに動かしてみ確認ができるのは大いに役立ちました」と語る。

森中氏が CLS を受講して得た知識は、さっそく開発の現場でも活用されており、サービス品質の向上につながっているという。さらに、開発現場や

社内でも実施している勉強会などを通して、他のメンバーへのスキルトランスファーも進みつつあるという。

自社の技術力の高さを示すベンダーの認定資格

森中氏は 2019 年 2 月、CLS により習得したスキルをベースに、OCI の認定資格である「Oracle Cloud Infrastructure 2018 Architect Associate」に挑戦。みごと取得している。

「CLS で網羅的に学習できたことで、試験にも安心して臨むことができました。問題の中には、受講していなければ解けないようなものもあったので、そういう意味では幸運でした」(森中氏)

Sler であるテクバンにとって、ベンダーの認定資格は自社の技術力の高さを示す指標ともなるため、対外的なアピールの面で重要だ。そのため、同社では資格マップを作成し、社員の昇級についても一定の資格取得を条件としている。オラクル認定資格取得も条件のひとつになっているが、今柳田氏は「OCI の東京リージョンが開設されるのに備え、同年中にあと 4 名が Oracle Cloud Infrastructure 2018 Architect Associate を取得することを目指しています」と将来について話している。

時代に即した教育プログラムを継続的に採用していく

常に新しいサービスが追加され、進化を続ける OCI は、継続的な学習や知識の習得が欠かせないという。そこでテクバンでは、今後も OCI に関するスキル向上や資格取得支援に向けて、継続して CLS を受講する予定だ。

「今やビジネスにおいて、クラウドシフトを検討しない企業はないといっても過言ではありません。クラウドシフトを検討いただいている企業の課題を解決するためにスキルが求められます。当社では今後も時代に合った教育プログラムを採用し、インフラだけでなくアプリケーションまで含めたグランドデザインや、開発と運用が一体となった DevOps が提案できるエンジニアを育成していきます。エンジニアが通常の開発業務と並行しながらスキルを磨くことは容易ではありませんが、オンライン形式の CLS はインターネット環境さえあれば時間や場所を問わないので、うってつけの学習方法だと思います」(森中氏)



事業統括本部
インフラソリューション事業部
インフラソリューション部
インフラソリューション4課長代理
森中 雅夫 氏

テクバン株式会社

所在地：東京都港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー 4 階

設立：1996 年 2 月 29 日

資本金：1 億円

社員数：885 名(2018 年 12 月 31 日現在)

事業概要：業務システム開発、ソフトウェア品質サービス、IT プラットフォーム、IT ネットワーク、コミュニケーション&コラボレーション、クラウドサービス、マネージドサービス

日本オラクル株式会社

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-3-13 赤坂センタービルディング 12F

oracle.com/jp

オラクルユニバーシティ
お問い合わせ窓口

ORACLE TEL 0120-155-092

University

URL <http://www.oracle.com/jp/education>